

第35回記念全国高等学校選抜バドミントン大会組合せについて

1. 組合せ方法

- * 記念大会であるので、組合せを『公開抽選』で行う。
- * 開会式終了後すぐに、会場にて選手（主将）による抽選で行う。

(1) シードは1～8までとする。

(第1条件) 前年度(平成17年度)の選抜大会(福井大会)の1位～8位(ランク順)をシードする。

(第2条件) 開催地の1位をシードする。

(第3条件) 当年度(平成18年度)の高校総体(奈良大会)の1位～8位(ランク順)をシードする。

* 9以降のシードはしない。

* 第1条件～第3条件で8シードまで埋まらなければ空けたままとする。

(2) 他はすべて考慮せずにフリー抽選とする。(開催地2校は左右に分ける)

2. 試合方法

- (1) 予選リーグ戦方式(3～4校)、決勝トーナメント戦方式(ベスト16による)で行い、ともに、複1、複2、単1、単2、単3の順の3マッチ先取とする。(勝敗が決まったら以降の試合は打ち切りとする。途中打ち切りとなった試合については計算には加えない)
- (2) 予選リーグ戦から決勝トーナメント戦へは1校勝ち上がりとする。
- (3) 決勝トーナメント戦の3位決定戦は行わない。
- (4) 他は大会実施要項による。

3. リーグ戦の順位決定方法

- (1) 最終勝敗で勝ち数の多い方を上位とする。
- (2) (1)が同じ場合は、全試合の中でマッチ(試合)の得失差の大きい方を上位とする。
- (3) (1)(2)が同じ場合は、全試合の中でゲームの得失差の大きい方を上位とする。
- (4) (1)(2)(3)が同じ場合は、全試合の中でポイントの得失差の大きい方を上位とする。
- (5) (1)(2)(3)(4)が同じ場合は、当該校どうしの勝敗結果による
- (6) 以上の(1)(2)(3)(4)(5)で決定できない場合は、抽選とする。

4. リーグ戦における棄権の扱いについて

- (1) 棄権した学校のそれまでの結果は有効とする。
- (2) 勝敗決定までの残りの点数を対戦相手に加える。
- (3) 棄権した場合でも、次の試合には出場できる。